

養老線の沿線事業所 アンケート調査報告書

平成28年12月2日

養老線地域公共交通再生協議会

目 次

1 調査の概要

1-1	調査の目的	1
1-2	調査の設計	1
1-3	回収結果	1
1-4	報告書の見方	1

2 調査結果の分析

2-1	従業員の通勤について	2
2-2	養老線のサービスに対する現状の満足度と今後の重要度について	6
2-3	養老線の社会的役割や効果について	8
2-4	養老線沿線のバスサービスに対する現状の満足度と今後の重要度について	10
2-5	養老線及び沿線のバス交通などの維持に向けた取り組みについて	14

資 料

○	養老線の沿線事業所向けアンケート調査票	15
---	---------------------	----

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、地域公共交通網形成計画の策定にあたり、養老線の利用状況や公共交通に対するニーズ等を把握するため、養老線の沿線事業所へアンケート調査を実施しました。

1-2 調査の設計

- (1) 対象社数 170社
- (2) 調査対象 沿線市町の商工会議所又は商工会に所属する企業
- (3) 調査方法 郵送配付・郵送返送による記名アンケート方式
- (4) 調査期間 平成28年9月16日（金）～10月11日（火）

1-3 回収結果

81社（回収率：47.6%）

1-4 報告書の見方

- (1) 比率は、すべてパーセンテージで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため合計が100%にならないことがあります。
- (2) 本報告書の表・グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

2 調査結果の分析

2-1 従業員の通勤について

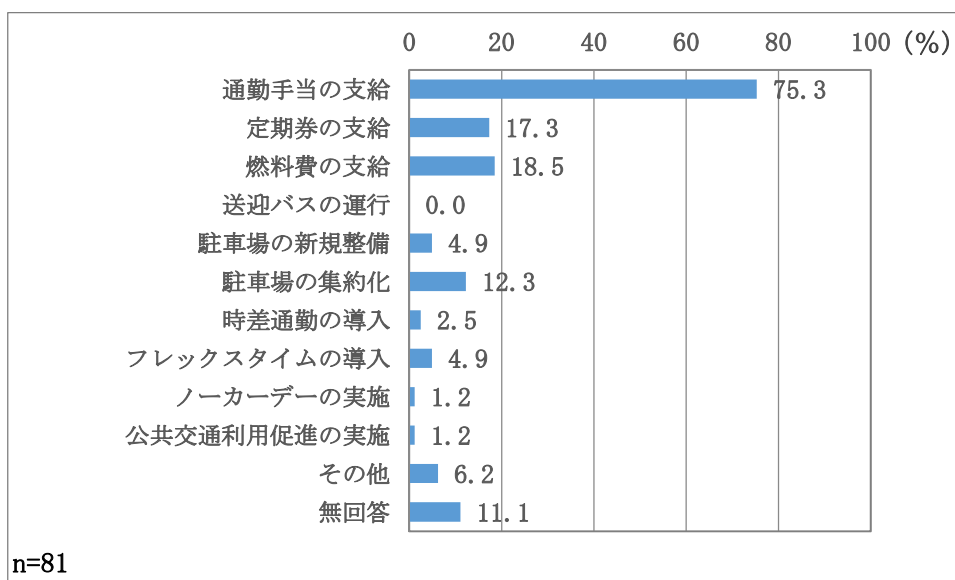
(1) 具体的な通勤対策（問3）

貴社は、具体的な通勤対策を実行されていますか。該当する番号全てに○をつけてください。

「具体的な通勤対策」についてたずねたところ、「通勤手当の支給」と答えた事業所が75.3%と最も多く、次いで「燃料費の支給」（18.5%）、「定期券の支給」（17.5%）となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
通勤手当の支給	61	75.3
定期券の支給	14	17.3
燃料費の支給	15	18.5
送迎バスの運行	0	0.0
駐車場の新規整備	4	4.9
駐車場の集約化	10	12.3

選択肢	回答数	割合 (%)
時差通勤の導入	2	2.5
フレックスタイムの導入	4	4.9
ノーカーデーの実施	1	1.2
公共交通利用促進の実施	1	1.2
その他	5	6.2
無回答	9	11.1



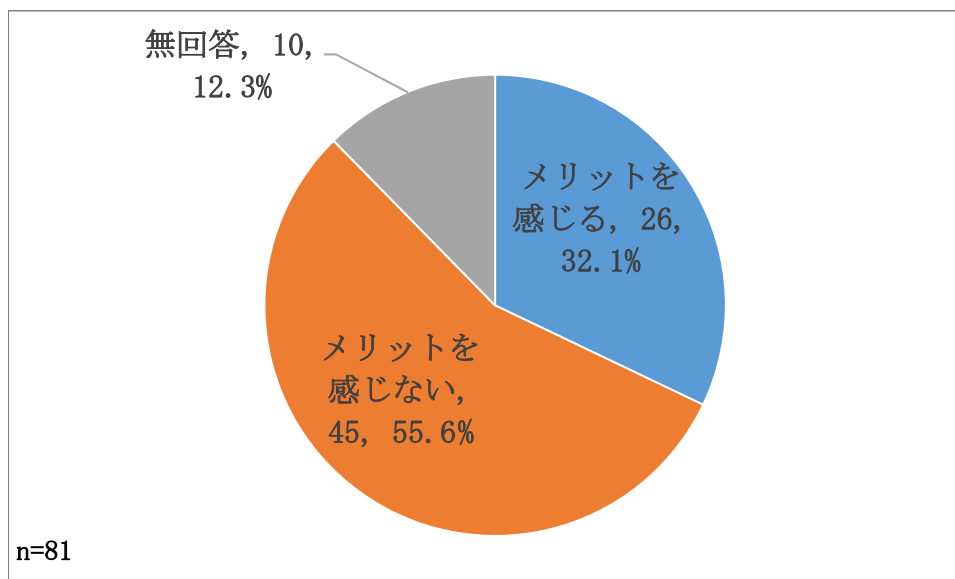
その他の記述事項	回答数
特になし	2
エコ通勤手当：自転車、徒歩で通勤する者に月額3,000円支給	1
従業員がいない	1
直行、直帰でのサービス実施	1

(2) 公共交通の利用を促進することへの” メリット” (問5)

貴社は、通勤手段として公共交通の利用を促進することに” メリット” を感じますか。該当する番号1つに○をつけてください。

「公共交通の利用を促進することへの” メリット” 」についてたずねたところ、「メリットを感じない」と答えた事業所が55.6%、「メリットを感じる」と答えた事業所が32.1%となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
メリットを感じる	26	32.1
メリットを感じない	45	55.6
無回答	10	12.3
合計	81	100.0

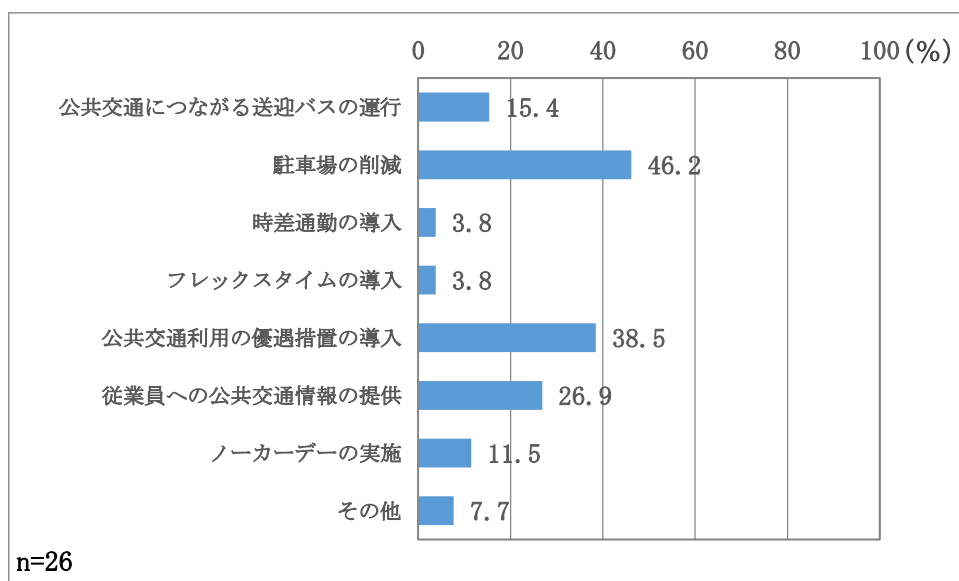


(3) 公共交通の利用促進するための取り組み（問6）

問5で「1. メリットを感じる」を選んだ場合のみお答えください。通勤手段として公共交通の利用を促進するためにどのような取り組みが効果的だと考えますか。
該当する番号全てに○をつけてください。

「公共交通の利用促進するための取り組み」についてたずねたところ、「駐車場の削減」と答えた事業所が46.2%と最も多く、次いで「公共交通利用の優遇措置の導入」（38.5%）、「従業員への公共交通情報の提供」（26.9%）となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
公共交通につながる送迎バスの運行	4	15.4
駐車場の削減	12	46.2
時差通勤の導入	1	3.8
フレックスタイムの導入	1	3.8
公共交通利用の優遇措置の導入	10	38.5
従業員への公共交通情報の提供	7	26.9
ノーカーデーの実施	3	11.5
その他	2	7.7



その他の記述事項	回答数
事業主ですが、会議など、懇談会を兼ねることも多く、帰りは電車で帰る事が出来る。よく利用している。	1
排ガスをおさえる効果	1

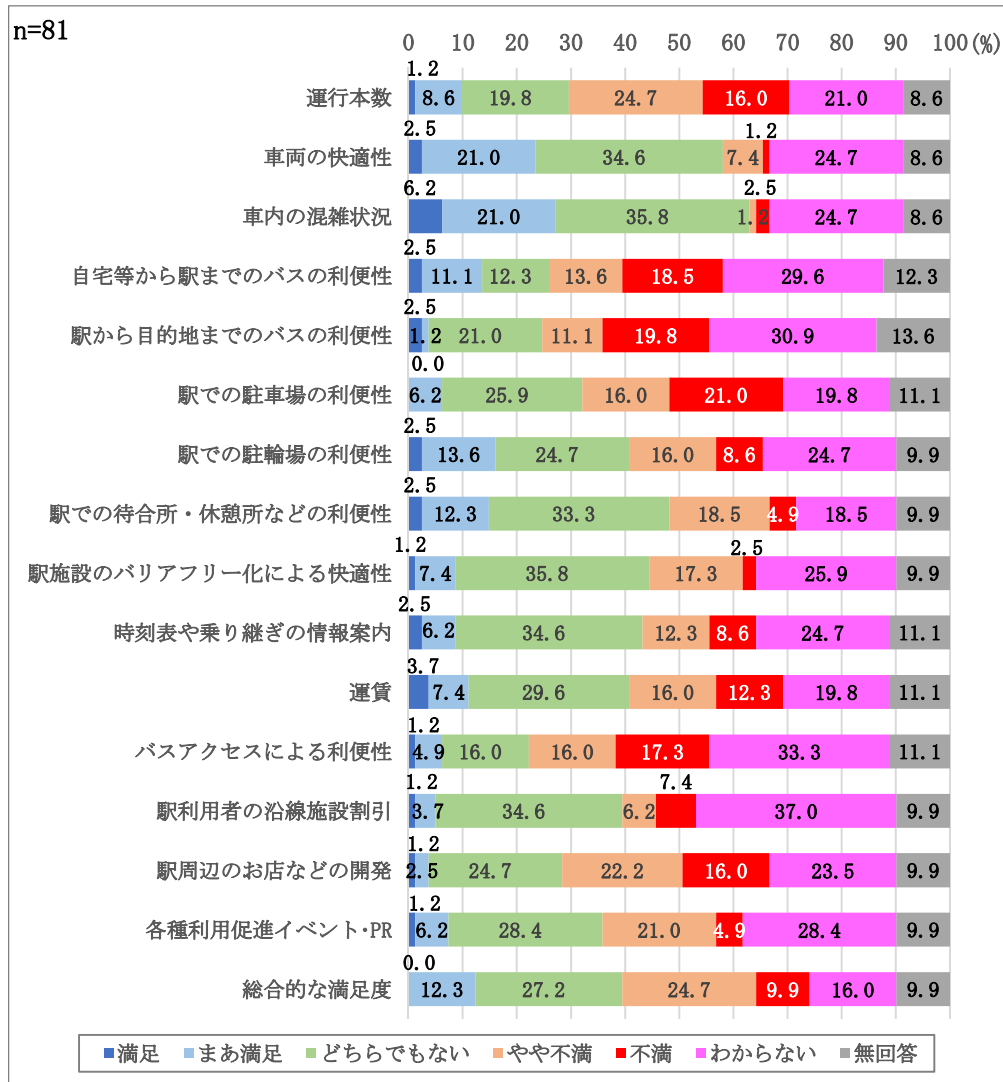
2-2 養老線のサービスに対する現状の満足度と今後の重要度について

(1) 現状の満足度（問7）

貴社（ご担当者様）が感じている養老線のサービスについて、現状の満足度と、今後の利用や運行を維持するうえでの重要度の程度をおしえてください。
項目別に満足度と重要度にそれぞれ1つに○をつけてください。

現状の満足度で満足している（「満足」「まあ満足」）項目について、「車内の混雑状況」と答えた事業所が27.2%と最も多く、次いで「車両の快適性」（23.5%）、「駅での駐輪場の利便性」（16.1%）となっています。

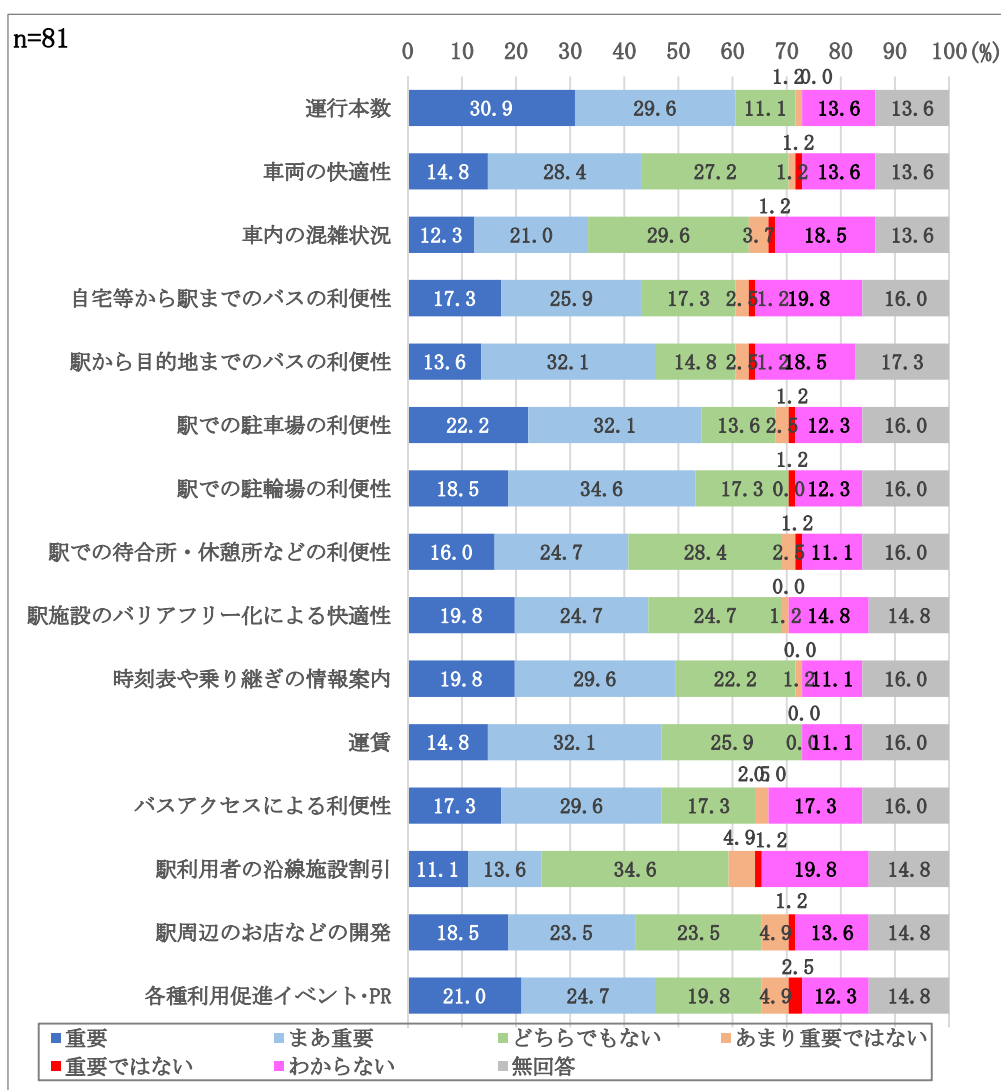
また、不満と思う（「不満」「やや不満」）項目について、「運行本数」と答えた事業所が40.7%と最も多く、次いで「駅周辺のお店などの開発」（38.2%）、「駅での駐車場の利便性」（37.0%）となっています。



(2) 今後の重要度（問7）

貴社（ご担当者様）が感じている養老線のサービスについて、現状の満足度と、今後の利用や運行を維持するうえでの重要度の程度をおしえてください。
項目別に満足度と重要度にそれぞれ1つに○をつけてください。

今後の重要度で重要と思う（「重要」「まあ重要」）項目について、「運行本数」と答えた事業所が60.5%と最も多く、次いで「駅での駐車場の利便性」（54.3%）、「駅での駐輪場の利便性」（53.1%）となっています。



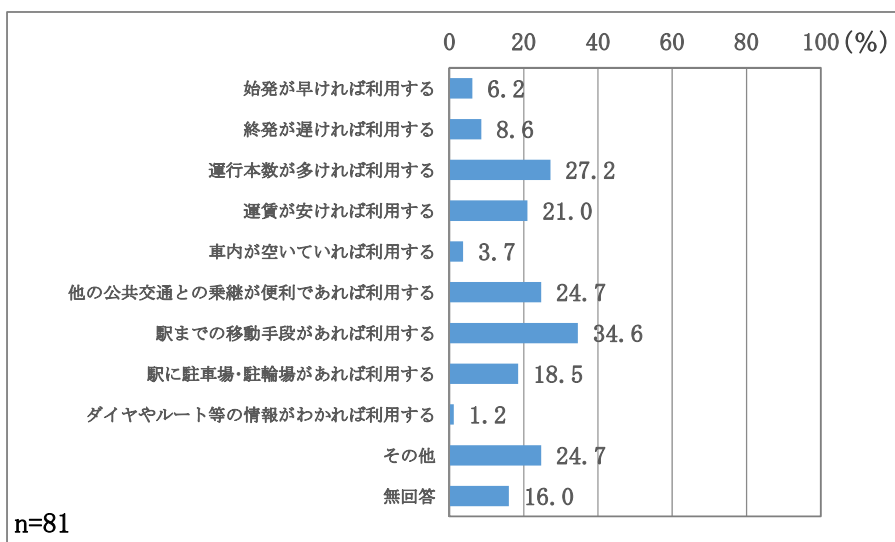
(3) サービス改善や利用環境の整備後の養老線の利用変化（問8）

貴社の従業員のうち、養老線を利用していない方が養老線で通勤するための条件を教えてください。該当する番号全てに○をつけてください。

「養老線を利用していない方が養老線で通勤するための条件」についてたずねたところ、「駅までの移動手段があれば利用する」と答えた事業所が34.6%と最も多く、次いで「運行本数が多ければ利用する」（27.2%）、「その他」（24.7%）となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
始発が早ければ利用する	5	6.2
終発が遅ければ利用する	7	8.6
運行本数が多ければ利用する	22	27.2
運賃が安ければ利用する	17	21.0
車内が空いていれば利用する	3	3.7
他の公共交通との乗継が便利であれば利用する	20	24.7

選択肢	回答数	割合 (%)
駅までの移動手段があれば利用する	28	34.6
駅に駐車場・駐輪場があれば利用する	15	18.5
ダイヤやルート等の情報がわかれば利用する	1	1.2
その他	20	24.7
無回答	13	16.0



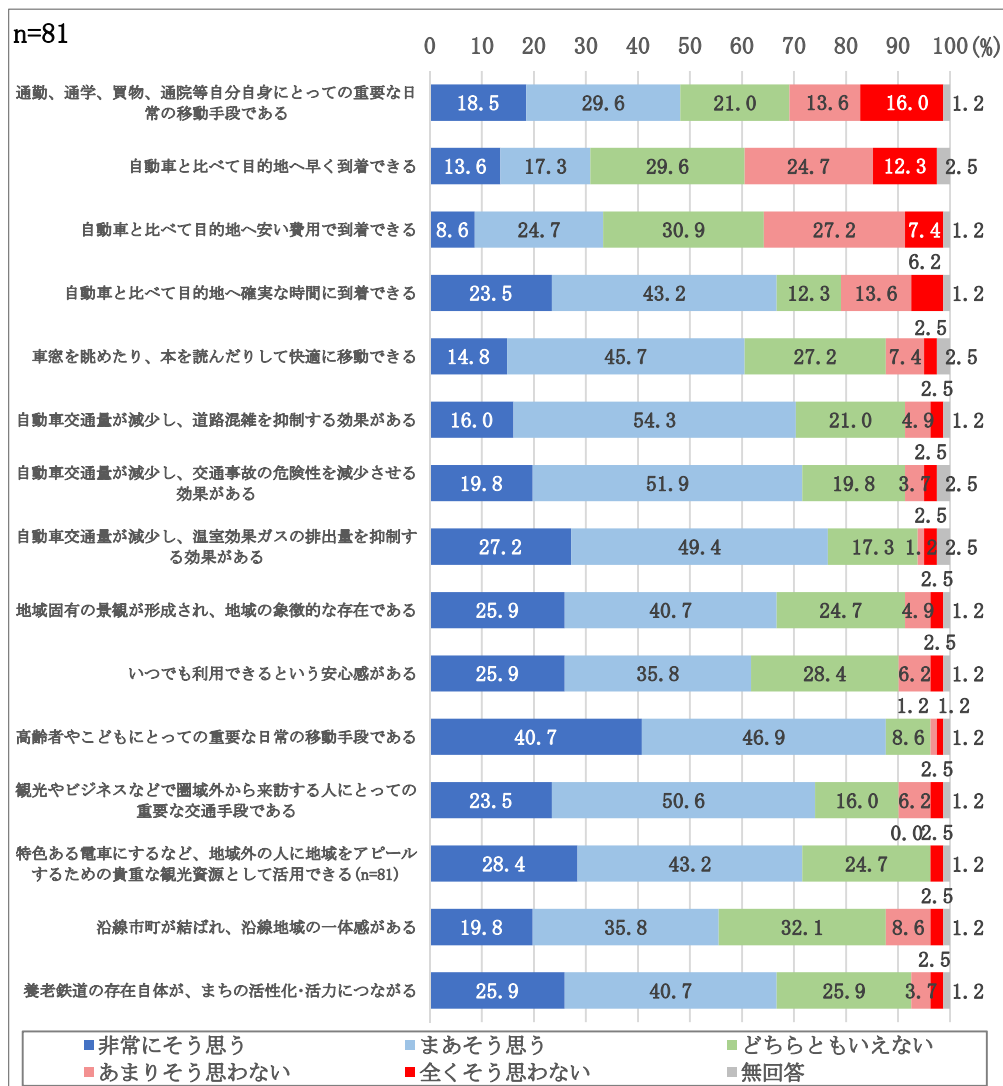
その他の記述事項	回答数
養老線を利用する従業員がいない	9
駅から距離があり通勤手段になる立地でない	4
自家用車での通勤の方が利便性が高いため鉄道の利用は無いと思う	2
朝2時30時分から始業のため利用できない	1
西大垣駅の西口開設	1

2-3 養老線の社会的役割や効果について

(1) 養老線に期待する社会的役割や効果について（問9）

貴社（ご担当者様）が養老線に期待する社会的役割や効果について、項目別に5段階で評価して下さい。該当する番号1つに○をつけてください。

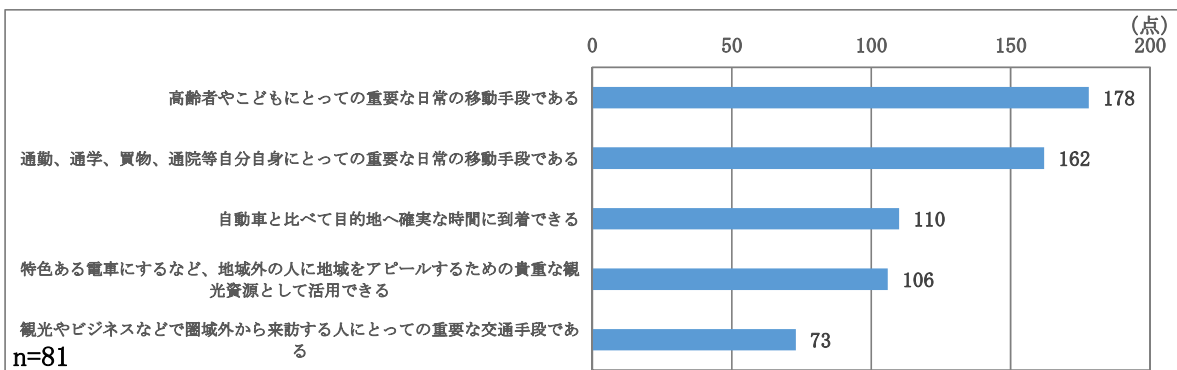
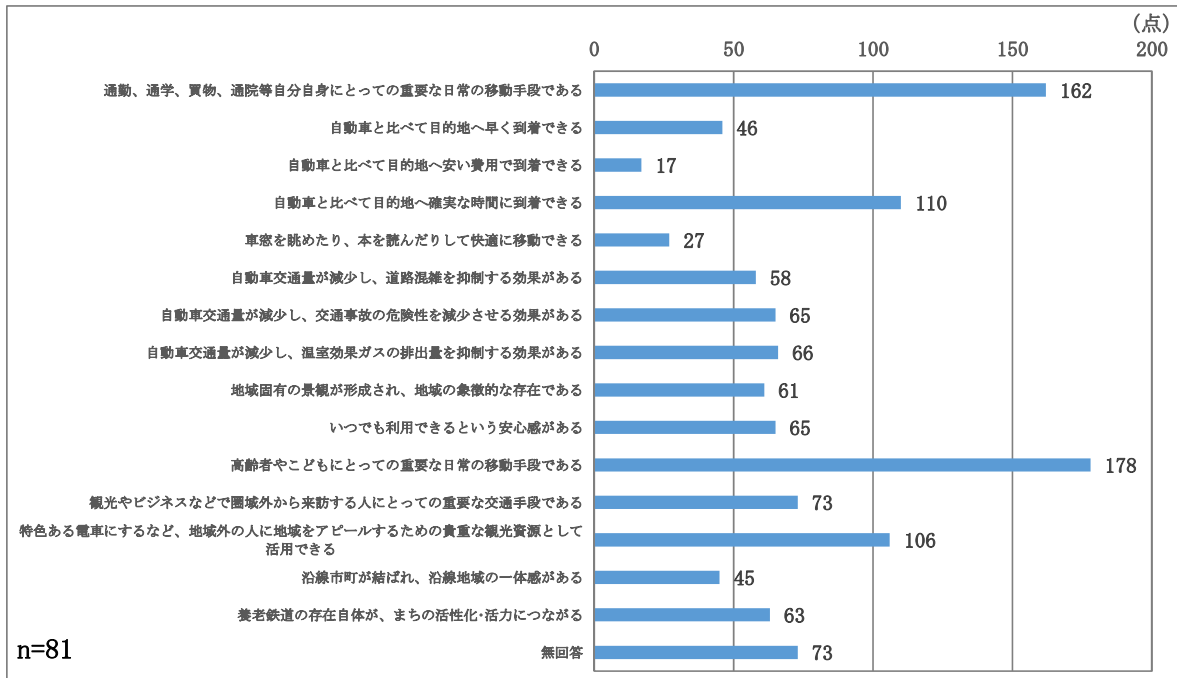
期待する（「非常にそう思う」「まあそう思う」）項目について、「高齢者や子どもにとっての重要な日常の移動手段である」と答えた事業所が87.6%と最も多く、次いで「各自動車交通量が減少し、温室効果ガスの排出量を抑制する効果がある」（76.6%）、「観光やビジネスなどで圏域外から来訪する人にとっての重要な交通手段である」（74.1%）となっています。



(2) 養老線に期待する社会的役割や効果について重要だと感じる項目（問10）

問9の①～⑮の項目について、貴社（ご担当者様）が重要だと感じる項目を上位5位までおしえてください。

「養老線に期待する社会的役割や効果について重要だと感じる項目」についてたずねたところ、「高齢者や子どもにとっての重要な日常の移動手段である」（178点）と答えた事業所が最も多く、次いで「通勤、通学、買物、通院等自分自身にとっての重要な日常の移動手段である」（162点）、「自動車と比べて目的地へ確実な時間に到着できる」（110点）となっています。



2-4 養老線沿線のバスサービスに対する現状の満足度と今後の重要度について

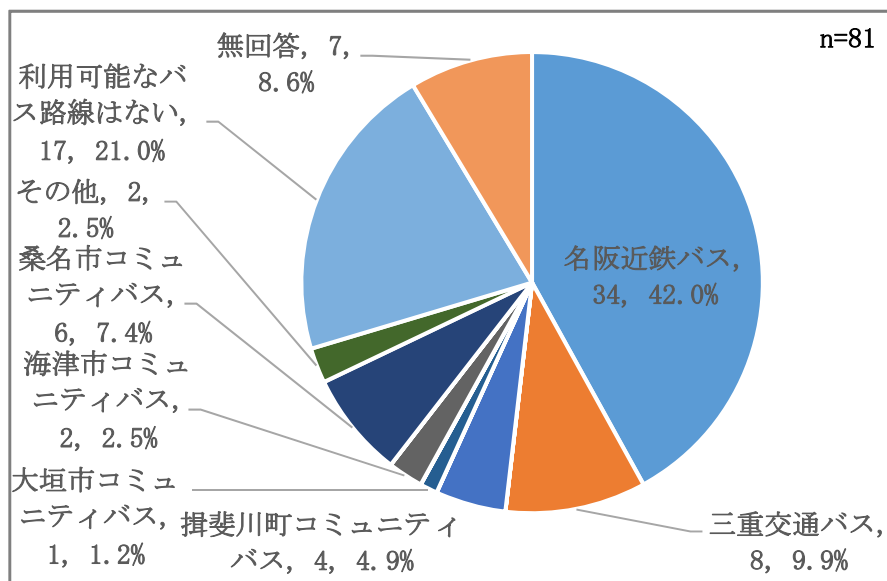
(1) 養老線とともに利用されている主なバス路線（問11）

貴社へ来訪する際に利用可能な（最寄りの）バス路線をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

「来訪する際に利用可能な（最寄りの）バス路線」についてたずねたところ、「名阪近鉄バス」と答えた事業所が42.0%と最も多く、次いで「利用可能なバス路線はない」(21.0%)、「三重交通バス」(9.9%) となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
名阪近鉄バス	34	42.0
三重交通バス	8	9.9
八風バス	0	0.0
三岐バス	0	0.0
揖斐川町コミュニティバス	4	4.9
池田町コミュニティバス	0	0.0
大垣市コミュニティバス	1	1.2

選択肢	回答数	割合 (%)
養老町オンデマンドバス	0	0.0
海津市コミュニティバス	2	2.5
海津市デマンド交通	0	0.0
桑名市コミュニティバス	6	7.4
その他	2	2.5
利用可能なバス路線はない	17	21.0
無回答	7	8.6
合計	81	100.0



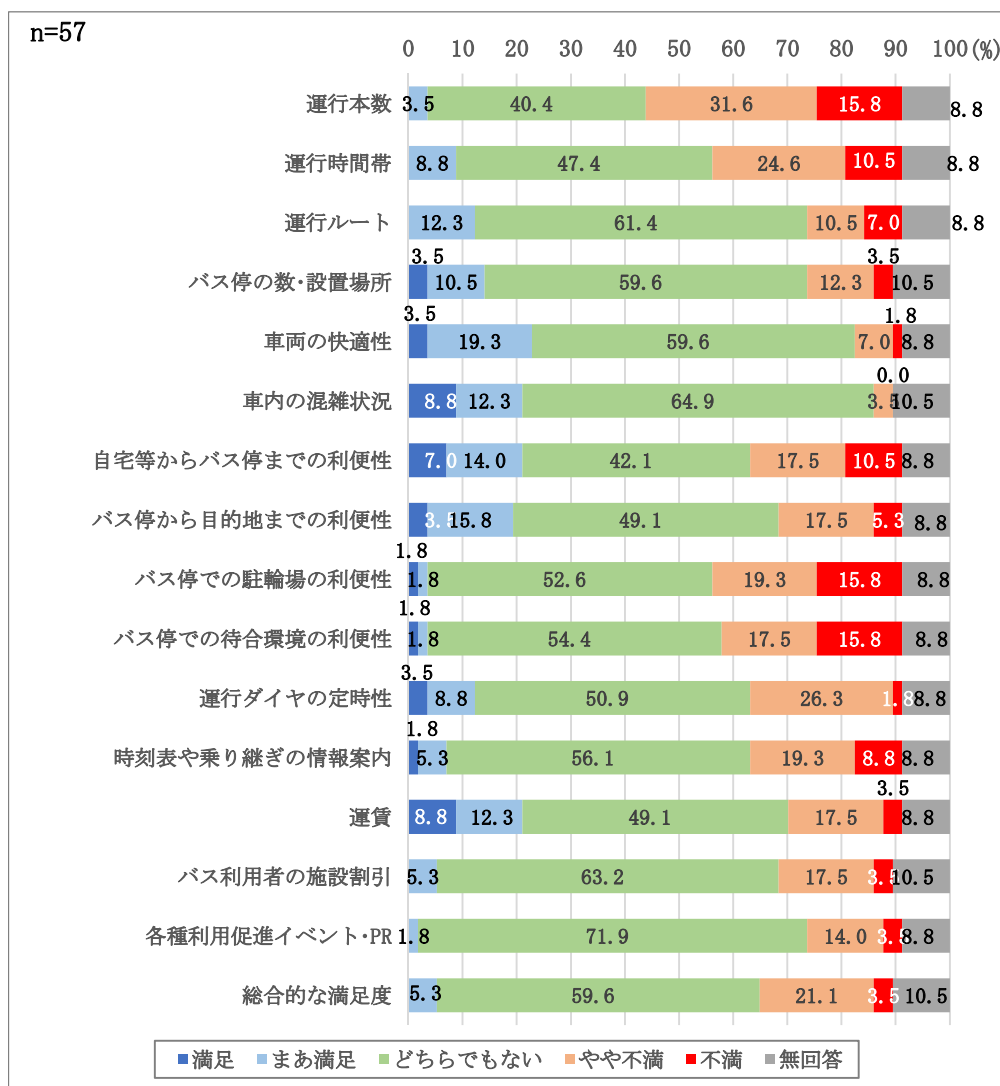
その他の記述事項	回答数
最寄り駅より徒歩圏内	2

(2) 現状の満足度（問12）

問11で貴社へ来訪する際に利用可能な（最寄りの）バス路線について現状の満足度と、今後の利用や運行を維持するうえでの重要度の程度をおしえてください。
項目別に満足度と重要度にそれぞれ1つに○をつけてください

現状の満足度で満足している（「満足」「まあ満足」）項目について、「車両の快適性」と答えた事業所が22.8%と最も多く、次いで「車内の混雑状況」「運賃」（21.1%）となっています。

また不満と思う（「不満」「やや不満」）項目について、「運行本数」と答えた事業所が47.4%と最も多く、次いで「運行時間帯」「バス停での駐輪場の利便性」（35.1%）となっています。

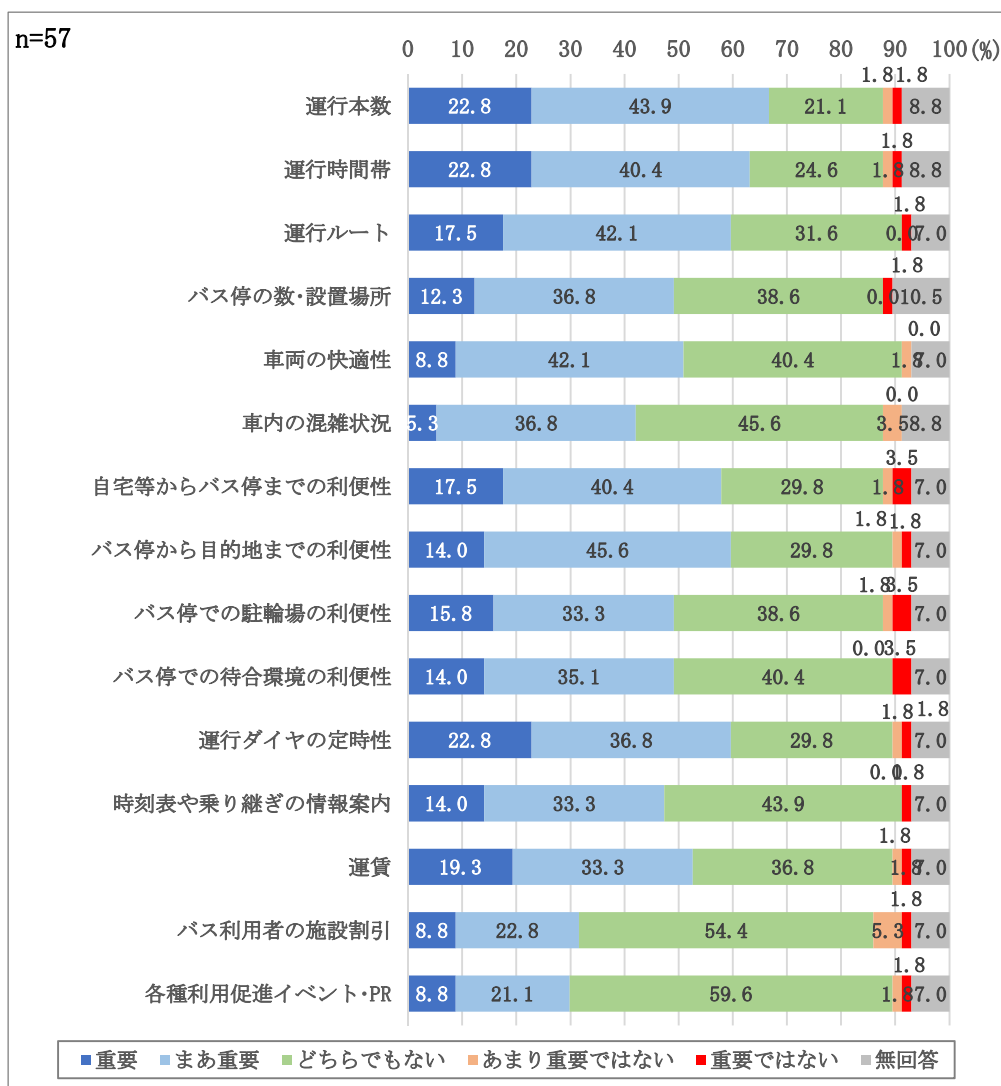


(3) 今後の重要度（問12）

問11で貴社へ来訪する際に利用可能な（最寄りの）バス路線について現状の満足度と、今後の利用や運行を維持するうえでの重要度の程度をおしえてください。

項目別に満足度と重要度にそれぞれ1つに○をつけてください

今後の重要度で重要と思う（「重要」「まあ重要」）項目について、「運行本数」と答えた事業所が66.7%と最も多く、次いで「運行時間帯」（63.2%）、「運行ルート」「バス停から目的地までの利便性」「運行ダイヤの定時性」（59.6%）となっています。

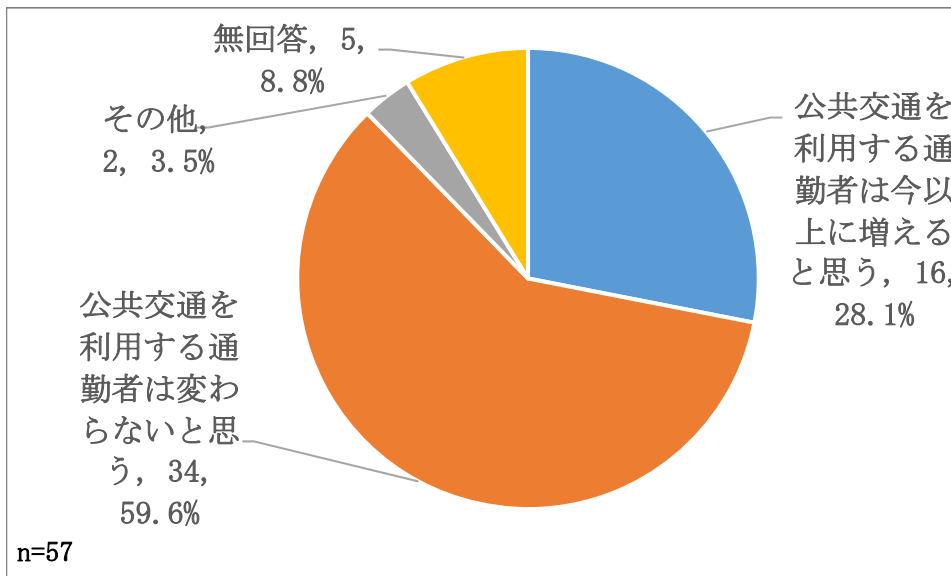


(4) サービス改善や利用環境の整備後の養老線の利用変化（問13）

問12で掲げるバスサービス改善や利用環境の整備が行われた場合、貴社の通勤手段において、バス路線や養老線の利用に変化は生じますか、該当する番号1つに○をつけてください

「サービス改善や利用環境の整備後の養老線の利用変化」についてたずねたところ、「公共交通を利用する通勤者は変わらないと思う」と答えた事業所が59.6%、「公共交通を利用する通勤者は今以上に増えると思う」と答えた事業所が28.1%となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
公共交通を利用する通勤者は今以上に増えると思う	16	28.1
公共交通を利用する通勤者は変わらないと思う	34	59.6
その他	2	3.5
無回答	5	8.8
合計	57	100.0



その他の記述事項	回答数
該当者がいない	1
必ずしも駅近辺に店舗があるわけではなく、又店舗間移動もある為マイカー中心は変わらないと思う	1

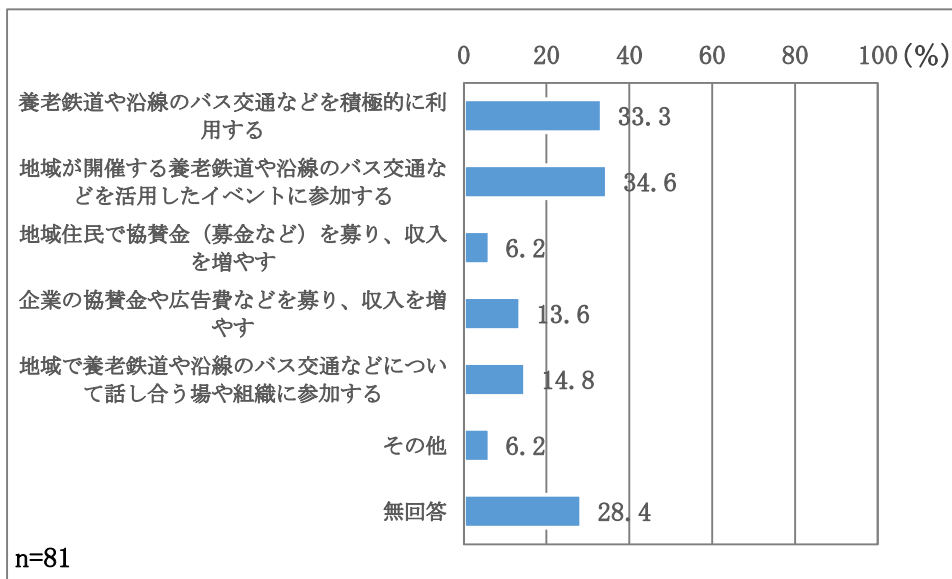
2-5 養老線及び沿線のバス交通などの維持に向けた取り組みについて

(1) 取り組んだり参加してもよいと思う取り組み（問14）

養老線や沿線のバス交通などを維持するために、貴社が取り組んだり、参加してもよいと思うものは何ですか。該当する番号全てに○をつけてください

「養老線や沿線のバス交通などを維持するために事業所が取り組んだり、参加してもよいと思うもの」についてたずねたところ、「地域が開催する養老鉄道や沿線のバス交通などを活用したイベントに参加する」（34.6%）と答えた事業所が最も多く、次いで「養老鉄道や沿線のバス交通などを積極的に利用する」（33.3%）、「地域で養老鉄道や沿線のバス交通などについて話し合う場や組織に参加する」（14.8%）となっています。

選択肢	回答数	割合 (%)
養老鉄道や沿線のバス交通などを積極的に利用する	27	33.3
地域が開催する養老鉄道や沿線のバス交通などを活用したイベントに参加する	28	34.6
地域住民で協賛金（募金など）を募り、収入を増やす	5	6.2
企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす	11	13.6
地域で養老鉄道や沿線のバス交通などについて話し合う場や組織に参加する	12	14.8
その他	5	6.2
無回答	23	28.4



その他の記述事項	回答数
特になし	4

養老鉄道沿線事業所向けアンケートのお願い

日頃から、養老鉄道養老線をご利用いただき、有難うございます。

養老鉄道は、平成 19 年度に近畿日本鉄道株式会社から養老鉄道株式会社へ運営が移行されて以降、少子高齢化の進展や自家用車への依存の高まりなどの社会的背景の変化に伴い、輸送人員は開業以降緩やかな下降が続いており、輸送人員全体で 1 割以上減少（開業当時比）しています。その一方で、自動車を運転できない高齢者や子供などの生活交通手段として、養老鉄道をはじめ沿線のバス交通など、公共交通の必要性は高まっており、その確保・維持に対して、国、県、沿線市町の予算から費用の一部を負担しています。

こうした中、平成 29 年中に、運行業務を引き続き養老鉄道株式会社が実施し、施設の管理を沿線市町で設立する法人が行うという事業形態に変更して存続することになりましたが、今後も持続可能な公共交通機関として養老鉄道を維持していくためには、今まで以上に沿線市町で支えていく必要があります。

そこで、現在の通勤行動の実態や今後の養老鉄道及び沿線公共交通の確保・維持に向けた取り組みなど、公共交通のより良い利用環境を創出する上で必要となる基礎指標を把握することを目的とし、アンケートを実施させていただくこととしました。

アンケートは、養老鉄道沿線に立地する事業所を対象として、実施させていただきます。

ご多忙のところ誠にご面倒とは存じますが、アンケート実施の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成 28 年 9 月

養老線地域公共交通再生協議会
養老線沿線市町

<アンケート調査票ご記入に当たっての注意事項>

1. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。
2. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**10月7日（金）まで**にお近くのポストに投函してください。
3. ご回答いただいた結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

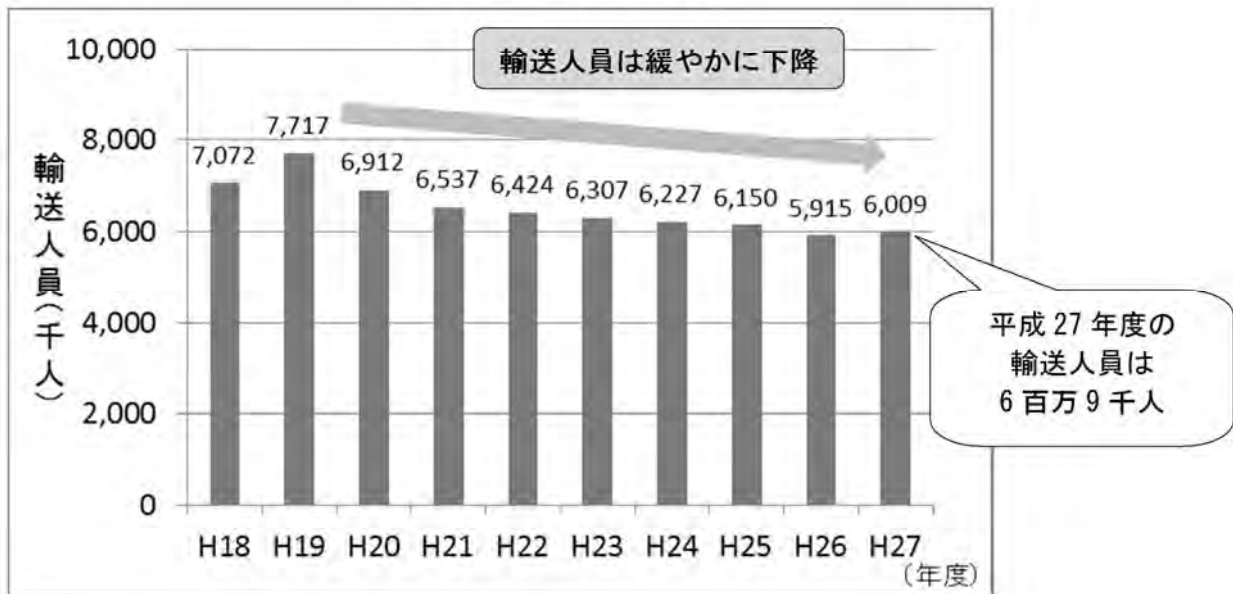
〔アンケートに関するお問い合わせ〕

大垣市	生活環境部	生活安全課	TEL: 0584-47-7386 (直通)
桑名市	都市整備部	都市整備課	TEL: 0594-24-1425 (直通)
海津市	市民環境部	市民活動推進課	TEL: 0584-53-3194 (直通)
養老町	産業建設部	建設課	TEL: 0584-32-5081 (直通)
神戸町	民生部	住民環境課	TEL: 0584-27-3111 (代表)
揖斐川町	企画部	政策広報課	TEL: 0585-22-2111 (代表)
池田町	総務部	企画課	TEL: 0585-45-3111 (代表)

<養老鉄道養老線の利用状況について>

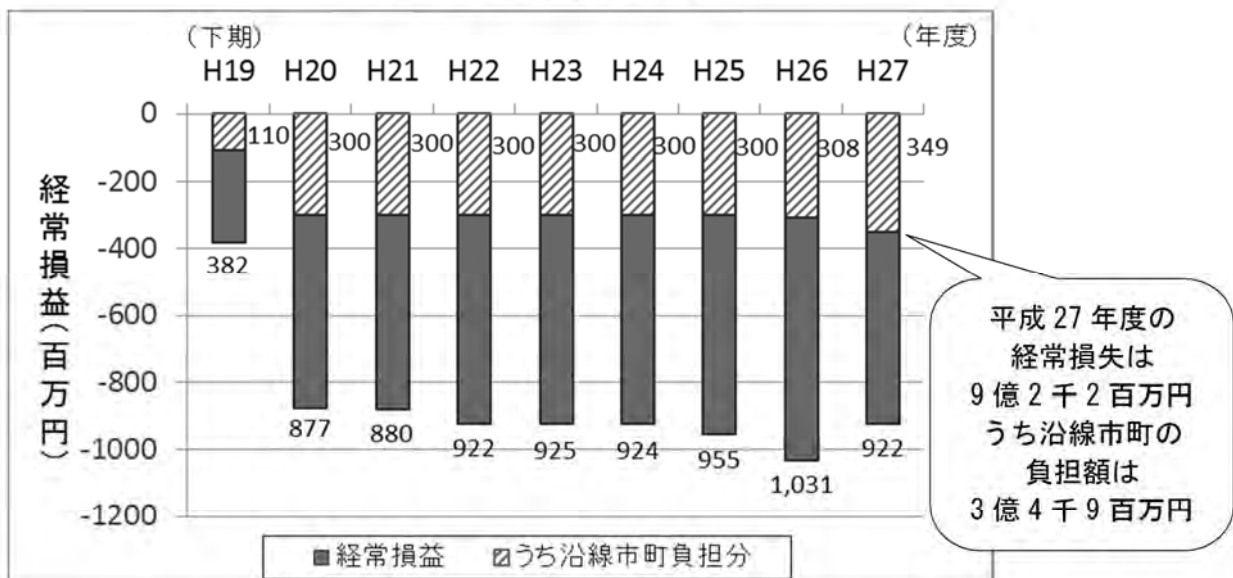
養老鉄道の輸送人員は平成19年度に近畿日本鉄道株式会社から養老鉄道株式会社へ運営が移行されて以降、緩やかな下降が続き、平成27年度は6百万9千人と、輸送人員全体で1割以上減少（開業当時比）しています。その一方で、開業以降、経常損益は赤字で推移し、平成27年度の経常損失は9億2千2百万円で、そのうち沿線市町の負担額は3億4千9百万円でした。

図 養老鉄道の輸送人員



資料：養老鉄道

図 養老鉄道の経常損益



養老鉄道開業以来、経常損益は赤字で推移

資料：養老鉄道

養老鉄道沿線事業所向けアンケート調査票

■企業の基本情報について

問1 貴社（事業所）の基本情報についてお答えください。

① 貴社名（記入）	()
② 従業員数（記入）	約 () 人
③ 従業員用の駐車場の駐車可能台数（記入）	約 () 台
④ 従業員の居住地	大垣市 : 約 () 人 桑名市 : 約 () 人 海津市 : 約 () 人 養老町 : 約 () 人 神戸町 : 約 () 人 池田町 : 約 () 人 揖斐川町 : 約 () 人 その他岐阜県内 : 約 () 人 その他三重県内 : 約 () 人 愛知県内 : 約 () 人 その他 : 約 () 人
⑤ 就業時間（記入）	単一時間帯の場合（朝 時 分から夕 時 分まで 残業時間の最終は 時 分まで） 交代制の場合（ 交代制、 交代制の時間帯 ）
⑥ 担当者の情報（記入）	所属 () 役職 () 氏名 () 連絡先 ()

■従業員の通勤について

問2 従業員の方の通勤時の交通手段について、主な交通手段別*におよその人数をご記入ください。

*主な交通手段は、鉄道>バス>タクシー>自動車>原付・バイク>自転車>徒歩の順で記入してください。「自宅」→自転車→「鉄道駅」→養老鉄道→「鉄道駅」→徒歩→「会社」の場合、養老鉄道が主な交通手段となります。

交通手段	人数	交通手段	人数
① 養老鉄道	約 () 人	② 養老鉄道以外の鉄道	約 () 人
③ 路線バス	約 () 人	④ コミュニティバス・デマンドバス	約 () 人
⑤ タクシー	約 () 人	⑥ 送迎バス	約 () 人
⑦ 自家用車 (送迎してもらった場合も含む)	約 () 人	⑧ 原付バイク	約 () 人
⑨ 自転車	約 () 人	⑩ 徒歩	約 () 人
⑪ その他	手段 : () 人数 : 約 () 人		

問3 貴社は、具体的な通勤対策を実行されていますか。該当する番号全てに○をつけてください。

1. 通勤手当の支給	2. 定期券の支給	3. 燃料費の支給
4. 送迎バスの運行	4. を回答された場合のみ問4へお進みください。	
5. 駐車場の新規整備	6. 駐車場の集約化	7. 時差通勤の導入
8. フレックスタイム（自由時間勤務制）の導入		
9. ノーカーデー（公共交通での通勤日）の実施		
10. 公共交通利用促進の実施（_____）		
11. その他（_____）		

問4 問3で「4. 送迎バスの運行」を選んだ場合のみお答えください。送迎バスの運行内容について、具体的にご記入ください。

① 主な運行区間	(_____) ~ (_____)
② 便数	貴社発 (_____) 本 貴社着 (_____) 本
③ 利用の対象者	(_____)
④ 利用するための条件	(_____)
⑤ 利用者負担金	(_____) 円

問5 貴社は、通勤手段として公共交通の利用を促進することに“メリット”を感じますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. メリットを感じる	→	問6へお進みください。
2. メリットを感じない	→	問7へお進みください。

問6 問5で「1. メリットを感じる」を選んだ場合のみお答えください。通勤手段として公共交通の利用を促進するためにどのような取り組みが効果的だと考えますか。該当する番号全てに○をつけてください。

1. 公共交通につながる送迎バスの運行	2. 駐車場の削減
3. 時差通勤の導入	4. フレックスタイム（自由時間勤務制）の導入
5. 公共交通利用の優遇措置の導入	6. 従業員への公共交通情報の提供
7. ノーカーデー（公共交通での通勤日）の実施	
8. その他（_____）	

■養老鉄道に対する現状の満足度と今後の重要度について

問7 貴社（ご担当者様）が感じている養老鉄道のサービスについて、現状の満足度と、今後の利用や運行を維持するうえでの重要度の程度を教えてください。

※項目別に満足度と重要度にそれぞれ1つに○をつけてください。

	現状の満足度						今後の重要度					
	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	わからない	重要	まあ重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
記入例：①運行本数	5	4	3	②	1	0	⑤	4	3	2	1	0
①運行本数	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
②車両の快適性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
③車内の混雑状況	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
④自宅等から駅までのバスの利便性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑤駅から目的地までのバスの利便性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑥駅での駐車場の利便性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑦駅での駐輪場の利便性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑧駅での待合所・休憩所などの利便性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑨駅施設のバリアフリー化による快適性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑩時刻表や乗り継ぎの情報案内	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑪運賃	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑫バスアクセスによる利便性	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑬駅利用者の沿線施設割引	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑭駅周辺のお店などの開発	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑮各種利用促進イベント・PR	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
⑯総合的な満足度	5	4	3	2	1	0						

問8 貴社の従業員のうち、養老鉄道を利用していない方が養老鉄道で通勤するための条件を教えてください。該当する番号全てに○をつけ、必要事項を記入してください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 始発が早ければ利用する | 2. 終発が遅ければ利用する |
| 3. 運行本数が多ければ利用する | 4. 運賃が安ければ利用する |
| 5. 車内が空いていれば利用する | 6. 他の公共交通との乗継が便利であれば利用する |
| 7. 駅までの移動手段があれば利用する | 8. 駅に駐車場・駐輪場があれば利用する |
| 9. ダイヤやルート等の情報がわかれば利用する | |
| 10. その他 (_____) | |

■養老鉄道の社会的役割や効果についておたずねします。

問9 貴社（ご担当者様）が養老鉄道に期待する社会的役割や効果について、項目別に5段階で評価して下さい。項目別に該当する番号1つに○をつけてください。

	非常にそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
記入例：②自動車と比べて目的地へ早く到着できる。	5	④	3	2	1
① 通勤、通学、買物、通院等自分自身にとっての重要な日常の移動手段である。	5	4	3	2	1
② 自動車と比べて目的地へ早く到着できる。	5	4	3	2	1
③ 自動車と比べて目的地へ安い費用で到着できる。	5	4	3	2	1
④ 自動車と比べて目的地へ確実な時間に到着できる。	5	4	3	2	1
⑤ 車窓を眺めたり、本を読んだりして快適に移動できる。	5	4	3	2	1
⑥ 自動車交通量が減少し、道路混雑を抑制する効果がある。	5	4	3	2	1
⑦ 自動車交通量が減少し、交通事故の危険性を減少させる効果がある。	5	4	3	2	1
⑧ 自動車交通量が減少し、温室効果ガスの排出量を抑制する効果がある。	5	4	3	2	1
⑨ 地域固有の景観が形成され、地域の象徴的な存在である。	5	4	3	2	1
⑩ いつでも利用できるという安心感がある。	5	4	3	2	1
⑪ 高齢者や子どもにとっての重要な日常の移動手段である。	5	4	3	2	1
⑫ 観光やビジネスなどで圏域外から来訪する人にとっての重要な交通手段である。	5	4	3	2	1
⑬ 特色ある電車にするなど、地域外の人に地域をアピールするための貴重な観光資源として活用できる。	5	4	3	2	1
⑭ 沿線市町が結ばれ、沿線地域の一体感がある。	5	4	3	2	1
⑮ 養老鉄道の存在自体が、まちの活性化・活力につながる。	5	4	3	2	1

問10 問9の①～⑮の項目について、貴社（ご担当者様）が重要と感じる項目を上位5位まで教えてください。

1位	2位	3位	4位	5位
番	番	番	番	番

■養老鉄道沿線のバスサービスに対する現状の満足度と今後の重要度について

問 11 貴社へ通勤する際に利用可能な（最寄りの）バス路線をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 名阪近鉄バス	2. 三重交通バス	3. 八風バス
4. 三岐バス	5. 揖斐川町コミュニティバス	6. 池田町コミュニティバス
7. 大垣市コミュニティバス	8. 養老町オンデマンドバス	9. 海津市コミュニティバス
10. 海津市デマンド交通	11. 桑名市コミュニティバス	
12. その他（ _____ ）		
13. 利用可能なバス路線はない		→ 13. を回答された場合のみ問 14 へお進みください。

問 12 問 11 で貴社へ通勤する際に利用可能な（最寄りの）バス路線について、現状の満足度と、今後の利用や運行を維持するうえでの重要度の程度をおしえてください。

※項目別に満足度と重要度にそれぞれ1つに○をつけてください。

	現状の満足度					今後の重要度				
	満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	まあ重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
記入例：運行本数	5	4	3	②	1	⑤	4	3	2	1
①運行本数	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②運行時間帯	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③運行ルート	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④バス停の数・設置場所	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤車両の快適性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥車内の混雑状況	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦自宅等からバス停までの利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧バス停から目的地までの利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨バス停での駐輪場の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩バス停での待合環境の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪運行ダイヤの定時性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫時刻表や乗り継ぎの情報案内	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬運賃	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭バス利用者の施設割引	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮各種利用促進イベント・PR	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯総合的な満足度	5	4	3	2	1					

問 13 問 12 で掲げるバスサービス改善や利用環境の整備が行われた場合、貴社の通勤手段において、バス路線や養老鉄道の利用に変化は生じますか。該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 公共交通を利用する通勤者は今以上に増えると思う
2. 公共交通を利用する通勤者は変わらないと思う
3. その他 (_____)

■養老鉄道及び沿線のバス交通などの維持に向けた取り組みについて

問 14 養老鉄道や沿線のバス交通などを維持するために、貴社が取り組んだり、参加してもよいと思うものは何ですか。該当する番号全てに○をつけてください。

1. 養老鉄道や沿線のバス交通などを積極的に利用する
2. 地域が開催する養老鉄道や沿線のバス交通などを活用したイベントに参加する
3. 地域住民で協賛金（募金など）を募り、収入を増やす
4. 企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす
5. 地域で養老鉄道や沿線のバス交通などについて話し合う場や組織に参加する
6. その他 (_____)

■養老鉄道及び沿線のバス交通などに対する考えやアイデアについて

問 15 貴社として養老鉄道や沿線のバス交通の利便性を高めるためのアイデアを自由に記入してください。

<自由意見欄>（記入例）近隣の企業と合同で養老鉄道の駅から送迎バスを運行する。
出張時などに社内限定で、共有で利用できる定期券を活用する。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、10月7日（金）までにお近くのポストに投函してください。

養老線の沿線事業所アンケート調査報告書

平成28年12月

発行・編集 養老線地域公共交通再生協議会